

各 位

会 社 名 株式会社 J F L Aホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 檜垣 周作  
 (コード番号 3069 JASDAQ)  
 問合せ先 広報・IR・CSR 室長 馬場 康尚  
 (TEL.03-6311-8892)

### 経営改善に向けた取り組みに関するお知らせ

当社は2018年5月21日に中期経営計画「Global Value Chain 2020」を発表し、その後2021年3月期に「売上高1,000億円、営業利益36億円、国内外店舗数1,500店舗」などを目指す経営目標を公表いたしました。しかしながら昨今の厳しい経営環境に加えて2018年8月に実施したジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社(以下、「JFLA」と言います。)の完全子会社化や海外事業の展開等による急速な事業拡大の影響で、2019年3月期の業績は大幅な差異が生じる結果となりました。

当社グループは引き続き中期経営計画の根幹である「食のグローバル・バリューチェーンの構築」の経営方針の下で、可及的速やかに以下の経営改善に向けた取り組みを実施してまいります。なお、経営改善を考慮した中期経営計画は現在策定中でありますので、まとも次第速やかに公表をいたします。

#### 記

##### (1) 2019年3月期の業績について

JFLAの完全子会社や海外展開等により、国内外で生産・流通・販売の各事業の拡充が図られた一方で、事業ポートフォリオの拡大に伴うグループ会社の急速かつ大幅な増加によりグループ経営のガバナンス体制が十分に機能できない状態が生じました。

具体的には、コア事業である外食販売事業の株式会社アスラポートや九州乳業株式会社を始めとした生産事業の乳業各社(以下「グループA」と言います。)などは、前期並みの業績で推移した一方で、海外及び新規事業の会社(以下「グループB」と言います。)は、大幅な赤字決算を余儀なくされ、更なる経営改善もしくは抜本的な改革が必要な状況です。

■2019年3月期営業利益(要約) 単位：千円

	実績	前期	前期比
全社	270,040	1,080,853	△810,813
グループA	1,166,779	1,259,247	△92,467
グループB	△660,012	△94,338	△565,675
連結調整	△570,035	△693,708	138,310

(グループA：従来からのコア事業やJFLA/グループB：海外及び新規事業)

(2) 事業改善に向けた具体的な取り組みについて

「食のグローバル・バリューチェーン」の強固な構築を行うため、グループ・ガバナンスが適正に機能するグループ体制の再構築を図ります。具体的には、グループ経営を統括する組織・機能の見直し、事業の選択と集中に関して明確なルールの導入を行い、今まで以上に事業ポートフォリオの管理を徹底してまいります。なお、グループ B に属する海外部門（欧州）については、他社とのパートナーシップによる損益改善も行ってまいります。

(3) グループにおける重複機能の効率化による費用削減について

間接部門の効率的配置や拠点の集約、管理機能を移管・最適配置することで、各事業セグメントのコスト構造を最適化し、グループ全体の資産効率の向上と収益力の強化を図ります。

なお、2019 年 3 月期通期連結業績の結果を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、役員報酬の自主返上を受け入れることといたします。

以上